

平成30年2月

会 員 各 位

四国紙パルプ研究協議会
会長 鮫島 一彦

講演会開催のご案内

平成29年度第2回講演会を下記のとおり開催いたします。
ご多忙中とは存じますが多数ご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

開催日時 平成30年3月5日(月) 14:00~16:20
開催場所 高知県立紙産業技術センター 2階研修室
吾川郡いの町波川287-4 TEL 088-892-2220

演題要旨

『近年の国産和紙原料を巡る状況とこれから』 14:05~15:05(60)

高知大学地域協働学部 講師 博士(農学) 田中 求氏

コウゾなどの和紙原料は山村の気候風土に適した植物であり、日本各地に「和紙の里」のような産地を作ってきました。しかしながら、その和紙原料が日本から消えようとしています。2010年前後には売り捌けずに農協や問屋などに残ってしまった原料が生じた一方で、2014年のユネスコによる手漉き和紙技術の無形文化遺産指定もあり、茨城県大子町や高知県などの和紙原料への需要が高まっています。そのなかで、原料の流通や和紙関係者との情報共有、新たな栽培や加工方法の試行、新規就農者への支援などが始まりつつあります。

(休憩 10 分間/時間調整)

『機能紙による開発型企業を目指して』 15:15~16:15(60)

廣瀬製紙株 常務取締役 岡田 祥司氏

創業55年を機に経営体制を変え、拡大再生産の戦略の下、「第2の創業」をスローガンに、新工場を建設し、開発体制も整えてきた。既存技術を応用した成果である製品薄様の「断熱紙」やポリイミド繊維100%「ポリイミドペーパー」、その他新素材の開発を、現在でも産官学連携により行っている。

一方で、長期戦略として、製造方法から品質管理方法まで独自で開発をしてきたエレクトロパブルスピニング法による「ナノファイバー不織布」での製品開発を行ってきた。

会社から製品等について紹介する。

参加費 無料

申込先 四国紙パルプ研究協議会事務局
〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町4084-1
TEL 0896-58-2055 FAX 0896-58-6240
E-mail info@e-kami.or.jp

申込方法 平成30年3月1日(木)迄に下記申込書をファクスにて送信ください。

四国紙パルプ研究協議会事務局行 FAX: 0896-58-6240

平成29年度 第2回講演会参加申込書

事業所名	TEL 番号	
	FAX 番号	
参加者氏名		所属・役職